

センター記入欄	作成日	年	月	日	担当者
処理番号	作成費用	円			
用途形態 ①住宅専用 ②複合用途 ③団地型 ④その他	利用状況	①センター登録 ②みらい登録 ③非登録管理組合 ④非管理組合 ⑤専門家派遣 ⑥無償			

【入力データ記入票】

〔 記入日 年 月 日 〕

(注)右欄の記載事項にご注意のうえ、必要事項をご記入ください。

※ 必須入力です

A. 管理組合の概要

フリガナ

1 管理組合名 ※ 必須入力です

管理組合 管理組合法人

マンション管理センター登録管理組合 登録番号 No

マンションみらいネット登録管理組合 登録番号 No

2 所在地 〒 - ※ 必須入力です

※ 必須入力です

3 理事長
氏名 号棟 号室
電話

4 申込者(記入者) ※ 申込者(記入者)、申込代行者(記入代行者)等のいずれかは全項目必須入力です

・管理組合
氏名 号棟 号室
電話

・申込代行者(記入代行者)等
 1)管理会社 2)建築士事務所 3)マンション管理士
 4)その他

会社名 担当者

電話 FAX

住所 〒 -

★ どちらかにチェックを入れてください。

★ 登録されている管理組合は、登録番号をご記入ください。

登録番号は7桁です。

登録番号は9桁です。

★ 市町村名、住居表示までご記入下さい。

★ 新築マンションの場合で、未定の場合は、空欄としてください。

★ 申込みのご担当をご記入ください。

なお、記載事項の確認が必要な場合のため、日中にご連絡が可能な電話番号をご記入ください。

★ 管理組合に代わって申し込む場合、記入を代行した場合又は新築マンションの場合などに、該当する番号を選択し、連絡先をご記入ください。

この場合も、管理組合の理事長の氏名・住居番号・電話番号をご記入ください。

(新築マンションの場合は必要ありません。)

5 成果物・請求書の送付先等

(1) 成果物・請求書の送付先

1) 管理組合 2) 申込代行者等(前頁の4) 3) その他

「1) 管理組合」のとき

※ 必須入力です

1) 管理事務所 2) 理事長自宅 3) 申込者自宅

4) その他:

「3) その他」のとき

※ 必須入力です

その他:

(2) 請求書の宛名

1) 管理組合 2) 申込代行者等(前頁の4)

★ 成果物と請求書の送付先(同一箇所)に該当する番号を選択してください。
管理組合の場合は、前頁の「2所在地」に送付します。

★ 作成費用の支払い者に該当する番号を選択してください。支払者により作成費用が異なりますのでご注意ください。

B. 会計の状況

1. 現在の修繕積立金 徴収総額(月額)

円 ※ 必須入力です

★ 修繕積立金(管理費は除く。)の全戸分(非住宅分を含む。)の徴収総額

2. 現在の修繕積立金 戸当たり平均額(月額)

円 ※ 必須入力です

★ 上記修繕積立金の徴収総額金額を全戸数で割った額

3. 修繕積立金の残高(前期会計年度末残高)

円 ※ 必須入力です

★ 前期会計年度末現在の修繕積立金の残高(修繕積立基金を含む。)

4. 専用使用料からの修繕積立金への継続的な繰入額(年額)

円 ※ 必須入力です

★ 専用庭等の専用使用料からその管理に充当した残金で、将来にわたり毎年継続して繰り入れられる予定の年間金額

5. 駐車場等の使用料、管理費会計、その他からの修繕積立金への継続的な繰入額(年額)

円 ※ 必須入力です

★ 駐車場使用料からその管理に充当した残金、管理費会計、その他から将来にわたり毎年継続して繰り入れられる予定の年間金額

6. 修繕積立金の運用益(年額)

円 ※ 必須入力です

★ その他、修繕積立金の運用益等で、将来にわたり毎年継続して繰り入れられる予定の年間金額

7. 借入金の償還金(前期会計年度末からの利息を含む総返済金額)

円 ※ 必須入力です

8. 借入金の返済残期間(前期会計年度末から)

年 ヵ月 ※ 必須入力です

★ 前期会計年度末以降に返済する利息を含む総返済金額を記入してください。
不明な場合は、前期会計年度末現在の残高を記入してください。(長期修繕計画には金利0%の償還金が表示されますのでご了承ください。)

★ 前期会計年度末からの返済残期間を記入してください。

C. 建物・設備の概要

1. 建物完成年月日

(西暦) 年 月 日 ※ 必須入力です

1) 新築 2) 既存

2. マンションの構造

1) RC造 2) SRC造 3) 鉄骨造・その他

★ 建物の設計図書や販売時のパンフレット等で確認してください。
★ 建物完成年月日は、月日までご記入ください。日付が不明な場合は1日としてください。
★ 「鉄筋コンクリート造は「RC造」、鉄骨鉄筋コンクリート造は「SRC造」、鉄骨造・その他は「鉄骨造・その他」を選択してください。

3. マンションの規模

階数 地上 階、地下 階 ※ 必須入力です
戸数 (非住宅の区画を含む。) 戸
※ 必須入力です

★ 建物が複合用途の場合の戸数は、全住戸数に、店舗・事務所等の区画数を加えた数をご記入ください。

4. 団地型の場合: 団地全体の規模(参考)

棟数 棟、戸数 全 戸

★ 団地型とは、同じ敷地に独立した棟が2棟以上あるものをいいます。
なお、棟が構造的に分かれていても、EXPJ等により各階でつながっている場合は、単棟型としてください。

5. 棟型式

1) 単棟型 2) 団地(多棟)型 3) タウンハウス型
※ 必須入力です

★ タウンハウス型とは、2階建て程度の住戸が連続して1棟を構成するものをいいます。

6. 「敷地面積」 m² (小数点第3位以下は切捨)

7. 「建築面積」 m² (小数点第3位以下は切捨)

※ 必須入力です

※ 必須入力です

8. 建物の形状

※ 必須入力です

- 1) 「雁行」している
- 2) 「セットバック」している
- 3) 「雁行しセットバック」している

4) 「箱形（長方形）」である
「雁行」の割合 % ※ 必須入力です

(「雁行」していない場合は「0%」)

9. 廊下方式の選択

※ 必須入力です

- 1) 開放廊下方式
- 2) 中廊下方式
- 3) 階段室方式
- 4) その他（混在方式など）

★ 「敷地面積」や「建築面積」は、建築基準法で定められています。建物の設計

図書や販売時のパンフレット等で確認してください。

★ 団地型で、全棟をまとめて1つの長期修繕計画を作成する場合は、敷地全体の面積を記入し、棟ごとに作成する場合は、敷地全体の面積を各棟の「専有面積」で按分した面積を記入してください。

★ 「雁行」とは、建物を平面的にみて、住戸単位でずれているものをいいます。

L字型、コの字型、ロの字型の建物は「雁行している」には含みません。

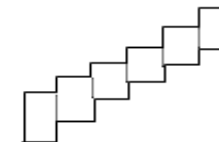
★ セットバックとは、斜線制限等により建物上部が段状に後退しているものをいいます。

★ 傾斜地に階段状に建つ場合は、「雁行しセットバックしている」を選択してください。

★ 「雁行」の例と雁行割合算定の例

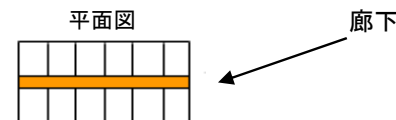


6戸の内1戸がずれている $1/6=17\%$



全戸がずれている $6/6=100\%$

★ 中廊下方式とは、下図のように建物内の住戸と住戸の間に廊下があるものをいいます。



10. 住戸タイプ別面積表(店舗・事務所を含む。)

※ 必須入力です

タイプ	戸数 (戸)	面積 m		修繕 積立 基金	タイプ	戸数 (戸)	面積 m		修繕 積立 基金	タイプ	戸数 (戸)	面積 m		修繕 積立 基金
		専有 部分	バルコ ニー				専有 部分	バルコ ニー				専有 部分	バルコ ニー	

* 住戸タイプ別の修繕積立金基金の額は、新築マンションの場合に記入して下さい。

	住 宅	非住宅	計
戸数合計 (A)	戸	区画	(戸・区画)
専有面積合計 (B)	m ²	m ²	m ²
バルコニー面積合計 (C)	m ²	m ²	m ²
平均面積	$\frac{(B)+(C)}{(A)}$ m ²	—	—

※ 必須入力です

- ★ 住戸タイプ別に記入して下さい。タイプ数が30以上ある場合は、類似の専有面積のタイプに集約し、30タイプ以内として下さい。
- ★ 店舗や事務所は、タイプに「店舗」、「事務所」と記入して下さい。
- ★ 住戸タイプ名はアルファベット、数字等で記入して下さい。
- ★ 修繕積立金を徴収しない管理(員)室・集会室等は、除きます。
- ★ 戸数合計欄の「計」は、「記入票の概要」の「C. 3. マンションの規模の戸数」と一致させてください。
- ★ バルコニーには、ルーフバルコニー部分を除きます。
- ★ 平均面積は、専有面積合計(B)とバルコニー面積合計(C)を合算したものを戸数合計(A)で除して下さい。

11. 駐車場設備(マンション全体)

1)ある 2)ない

※ 必須入力です

「1)ある」のとき

駐車場の台数 台

【新築マンションの場合に記入】

12.修繕積立基金

(1)修繕積立基金の総額 円

(2)修繕積立基金の割戻期間 年

★ 団地型(複数棟)の場合で、棟ごとに長期修繕計画を作成する場合は、全体の台数(立体駐車場のみ)を各棟の住戸数等で按分した台数を記入してください。

★ 修繕積立基金の割戻期間とは、修繕積立基金を修繕積立金の前払いとして考えて、修繕積立金の額の設定に当たり、均等積立方式により算定した修繕積立金の額から、修繕積立基金を期間で割り戻した額を差し引くための期間をいいます。

D. 建物・設備等の現状と修繕履歴

マンションの共用部分等である建物や設備等の部位ごとの現状(仕様)と修繕の履歴をご記入ください。

- ① 建物や設備等の現状(仕様)は、右欄の記載事項にご注意のうえ、設計図書、分譲時のパンフレットなどで確認し、部位ごとの仕様に該当する番号を選択してください。
- ② 修繕の履歴は、項目ごとに、修繕工事の実施状況を記入して下さい。なお、新築マンションの場合は不要です。

[注意事項]

- ① 修繕履歴の[]年には、修繕工事を実施した直近の年(西暦)を記入してください。なお、記入日の年に実施した場合又は実施する予定の場合は、記入日の年を記入してください。
- ② 記入年において修繕工事を実施し、前期会計年度末までに修繕工事費用を支払っている場合は、その修繕工事費をBの「修繕積立金の残高」に加えてください。記載年の前年かつ前期会計年度末以降において修繕工事を実施し、記入日までに修繕工事費用を支払っている場合は、修繕工事費用をBの「修繕積立金の残高」から差し引いてください。
- ③ 修繕工事には、経常的な修繕(ガラスの破損など)、点検・調整、排水管の清掃等は含まれません。

1. 仮設工事 (記入の必要はありません。)

- ① 共通仮設
- ② 直接仮設

- ★ 共通仮設費とは、仮設事務所、資材置き場等に係る経費をいいます。
- ★ 直接仮設費とは、枠組足場、養生シート等に係る経費をいいます。

2. 屋根防水

①「屋上防水(保護)」(保護コンクリート防水(歩行用防水))

1)あり 2)なし ※ 必須入力です

1)ありのとき

「屋上防水(保護)」の修繕

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

過去 回、直近 西暦 年 ※ 必須入力です

- ★ 屋上は、屋上、塔屋、ルーフバルコニーをいいます。
- ★ 屋上防水(保護)とは、防水層をコンクリート等で保護し、その上を歩行することができるものをいいます。
- ★ ルーフバルコニーは、①の「屋上防水(保護)」になります。

②「屋上防水(露出)」の有無 (露出防水 (非歩行用防水))

1)あり 2)なし ※ 必須入力です

1)ありのとき

「屋上防水(露出)」の修繕

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

過去 回、直近 西暦 年 ※ 必須入力です

①と②の屋上防水が併用されている場合

①の面積の割合は、①②合計の % 程度

③「傾斜屋根」

③-1 [シングル葺き等] の有無

1)あり 2)なし ※ 必須入力です

1)ありのとき

シングル葺き等の撤去・葺替え

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

過去 回、直近 西暦 年 ※ 必須入力です

③-2 [金属板葺き等] の有無

1)あり 2)なし ※ 必須入力です

1)ありのとき

金属板葺き等の撤去・葺替え

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

過去 回、直近 西暦 年 ※ 必須入力です

③-3 「屋上防水と傾斜屋根が混在している場合」 ※ 必須入力です

屋根全体のうち屋上防水の割合 % 程度

(傾斜屋根がない場合は100%と記載ください。)

④「庇、笠木等防水」(記入の必要はありません。)

★ 屋上防水(露出)とは、防水層の保護層がなく、その上を歩行することができないものをいいます。

(アスファルト露出防水、シート防水、塗膜防水等)

★ ルーフバルコニーは、①の「屋上防水(保護)」になります。

★ 併用されていなければ記入の必要はありません。

★ シングル葺き等とは、アスファルトシングル葺き、スレート葺き、瓦葺き等をいいます。

★ 金属板葺き等とは、鋼板葺き、銅葺き、瓦棒葺き等をいいます。

★ 屋上防水と傾斜屋根が混在している場合は、それぞれの欄に記入し、「屋上防水と傾斜屋根が混在している場合」にその割合を記入してください。

★ 傾斜屋根がない場合は「100%」、屋上防水がない場合は「0%」と記入してください。

★ 上空から屋上及び屋根を見おろした平面の面積で、およその割合を記入してください。

3. 床防水

①「バルコニー床防水」

「バルコニー床防水」の面積 m² ※ 必須入力です

「バルコニー床防水」の修繕

1) 実施した 2) 実施していない ※ 必須入力です

「1) 実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

②「開放廊下・階段等床防水」

「開放廊下・階段等床防水」の面積 m²

「開放廊下・階段等床防水」の修繕 ※ 必須入力です

1) 実施した 2) 実施していない ※ 必須入力です

「1) 実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

4. 外壁塗装等

①「躯体コンクリート補修」 (記入の必要はありません。)

②「外壁塗装」 (雨掛かり部分及び非雨掛かり部分)

②-1[開放廊下・階段の手すり]の仕様

※ 必須入力です

- 1) 鋼製
- 2) アルミ製又はステンレス製
- 3) コンクリート製 (手すり壁)
- 4) コンクリート製と鋼製が混在
- 5) コンクリート製とアルミ製又はステンレス製が混在
- 6) 開放廊下・階段がない (手すりがない)

★ バルコニー床防水とは、ウレタン塗膜防水等をいいます。

★ バルコニーには、ルーフバルコニーを含みません。

★ 記入票①「10. 住戸タイプ別面積表」のバルコニー面積合計を超えての入力は出来ません。

★ 開放廊下・階段等床防水とは、床の塩ビシート張り、側溝・幅木のウレタン塗膜防水等をいいます。

★ 建物の設計図書、又は実測により、おおよその面積を記入してください。

★ 開放(外部)廊下・階段(屋外鉄骨階段を除く。)の手すりについて、その材料を選択します。

★ 手すりにガラスやパネルがはめられている場合は、手すりの枠部分の材料で判断してください。

②-2[バルコニーの手すり]の仕様

※ 必須入力です

- 1) 鋼製
- 2) アルミ製又はステンレス製
- 3) コンクリート製（手すり壁）
- 4) コンクリート製と鋼製が混在
- 5) コンクリート製とアルミ製又はステンレス製が混在
- 6) バルコニーがない（手すりがない）

③「軒天塗装」

③-1 [開放廊下] の天井の有無

1)あり 2)なし 3)混在、その他 ※ 必須入力です

③-2 [バルコニー] の天井の有無

1)あり 2)なし 3)混在、その他 ※ 必須入力です

④外壁・手すり壁・軒天の塗装、タイル張りの補修、シーリングの打替等

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

過去 回、 直近 西暦 年 ※ 必須入力です

⑤「タイル張補修」

外壁全体（面積）のうちタイル張り（面積）の割合 % 程度

⑥「シーリング」打替（記入の必要はありません。）

★ バルコニーの手すりについて、その材料を選択します。

★ 手すりにガラスやパネルがはめてある場合は、手すりの枠部分の材料で判断してください。

★ 軒天とは、開放廊下やバルコニーの軒天(上げ裏)をいいます。

★ 「タイル張」とは、磁器タイル張、石張等をいいます。

★ タイル張がない場合は「0%」とします。

5. 鉄部塗装等

①「鉄部塗装(雨掛かり部分)」

①-1 [開放廊下・階段、バルコニー以外の鋼製手すり等]の有無

1)あり 2)なし ※ 必須入力です

1)ありのとき

・高さ m で 長さ m
・高さ m で 長さ m
・高さ m で 長さ m



*高さ1mに換算した 総延長 m

①-2 [屋外鉄骨階段]の有無

1)屋外鉄骨階段がある 2)屋外鉄骨階段がない ※ 必須入力です

1)ありのとき

総階層数 層 ※ 必須入力です

①-3「鉄部(雨掛かり部分)」の塗替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

②「鉄部塗装(非雨掛かり部分)」

②-1[住戸玄関ドア]の仕様

※ 必須入力です

- 1)鋼製ドア(塗装)
- 2)鋼製ドア(塩ビシート貼り等(塗装不要))

★鉄部(雨掛かり部分)とは、屋外で直接雨にさらされる、開放廊下・階段やバルコニーの鋼製手すり、屋外鉄骨階段等をいいます。

★「開放廊下・階段、バルコニー以外の鋼製手すり等」とは、ルーフバルコニーや屋上に設置されたフェンス等を指します。

★ルーフバルコニーや屋上のフェンス等の高さや長さを記入します。
異なるものが、3ヶ所以上ある場合は空欄に追加してご記入ください。

★高さ1m換算の総延長は、「高さ×長さ」の総計を、1mで除した数値とします。
(例)高さ2m、長さ10mの場合 → 高さ1m換算の総延長は 20m

★屋外鉄骨階段の1階分を1階層として、階層数(複数の場合は、各屋外鉄骨階段の階層の総数)を求めてください。屋上までない屋外鉄骨階段は、「階数-1」が階層数となります。

(例)5階までの屋外鉄骨階段(4階層)が1つ、4階までの屋外鉄骨階段(3階層)が1つの場合 → 総階層数は7

★鉄部(非雨掛かり部分)とは、直接雨にさらされない、各住戸の鋼製玄関ドア、メーターボックス扉等をいいます。

②-2「鉄部(非雨掛り部分)」の塗替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

③「非鉄部塗装」

「非鉄部」の清掃・塗替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

6. 建具・金物等

①「建具関係」

「建具関係」の取替

①-1[住戸玄関ドア]の取替(カバー工法を含む)

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

①-2[住戸窓アルミサッシ]の取替(カバー工法を含む)

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

★ 非鉄部とは、アルミサッシ、バルコニー隔て板のパネル等をいいます。

★ 建具関係とは、各住戸の玄関ドア、窓アルミサッシ等をいいます。

★ カバー工法とは、既存の建具の枠の上に新たな建具を設ける工法をいいます。

②「手すり」

「手すり」の取替

1) 実施した 2) 実施していない ※ 必須入力です

「1) 実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

③「屋外鉄骨階段」

「屋外鉄骨階段」の取替

1) 実施した 2) 実施していない ※ 必須入力です

「1) 実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

④「金物類(集合郵便受等)」

「金物類(集合郵便受等)」の取替

1) 実施した 2) 実施していない ※ 必須入力です

「1) 実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

⑤「金物類(メーターボックス扉等)」

「金物類(メーターボックス扉等)」の取替

1) 実施した 2) 実施していない ※ 必須入力です

「1) 実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

★ 手すりとは、開放廊下・階段、バルコニー等の鋼製、アルミ製等の手すりをいいます。

(コンクリート製は除きます。)

★ 屋外鉄骨階段がある場合に記入してください。

屋外鉄骨階段がない場合は、2)を選択してください。

★ 金物類(集合郵便受等)とは、集合郵便受、掲示板、宅配ロッカー、避難ハッチ、タラップ、隔て板、物干金物等をいいます。

★ 金物類(メーターボックス扉等)とは、メーターボックスの扉、パイプスペースの扉等をいいます。

7. 共用内部

①「集会室」の有無

1)ある 2)ない ※ 必須入力です

「1)ある」とき

②「共用内部」の修繕

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

8. 給水設備

①「給水管」

「給水管」の取替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

②「貯水槽」

②-1受水槽

1)ある 2)ない ※ 必須入力です

「1)ある」とき

「受水槽」の取替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

★ 管理員室を兼用している集会室は、「2)ない」を選択してください。

★ 共用内部とは、管理員室、集会室、内部廊下、内部階段、エントランスホール、エレベーターホール等の壁、床、天井等をいいます。

★ 給水管とは、共用部分の給水管(専有部分を除きます。)をいいます。

②-2高置(高架)水槽

1)ある 2)ない ※ 必須入力です

「1)ある」とき

「高置(高架)水槽」の取替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

③「給水ポンプ」

「給水ポンプ」の種別

※ 必須入力です

- 1)揚水ポンプ (受水槽から高置水槽に水を送る。)
- 2)加圧ポンプ (受水槽から直接水を圧送する。)
- 3)増圧ポンプ (水道本管から直接水を圧送する。)
- 4)給水ポンプはない (水道本管から直接給水する。)

「給水ポンプ」の取替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

★ 部品交換(オーバーホール)等の場合は、「2)実施していない」を選択してください。

9. 排水設備

①「排水管」(建物の形態)

※ 必須入力です

- 1) 1階からすべて住宅専用
- 2) 1階が店舗や事務所等（複合用途）
- 3) 1階部分がピロティ形式（駐車場等）

「排水管」の取替

1) 実施した 2) 実施していない ※ 必須入力です

「1) 実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

②「排水ポンプ」の有無

1) ある 2) ない ※ 必須入力です

「1) ある」とき

「排水ポンプ」の取替

1) 実施した 2) 実施していない ※ 必須入力です

「1) 実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

★ 排水管とは、共用部分の排水管（専有部分を除きます。）をいいます。

★ ディスポーザ排水処理システムがある場合は、特殊施設として「20 その他」に記入してください。

10. ガス設備

①「ガス管」の有無

屋外埋設部ガス管の種別

※ 必須入力です

- 1) 亜鉛メッキ鋼管等の鋼管類
- 2) ポリエチレン管、被覆管等の樹脂系管
- 3) ガス管はない（オール電化・プロパンガス等）

〔屋外埋設部ガス管〕の配管長さ

m

※ 必須入力です

「ガス管」の取替（屋外埋設部ガス管）

1) 実施した 2) 実施していない

※ 必須入力です

「1) 実施した」とき

直近 西暦 年

※ 必須入力です

（都市ガスを対象）

★ ガス管の仕様は、設計図書等で確認するかガス事業者にお問い合わせください。

不明な場合は建物の完成年により次のとおり選択してください。

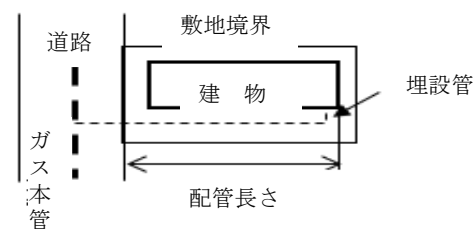
1985年以前は、亜鉛メッキ鋼管

1986年以降は、ポリエチレン管

★ プロパンガス（LPガス）の場合は、マンションごとにガス会社との契約内容が異なるため対象外とします。

★ 屋外埋設部の配管長さが不明の場合は、道路の引込境界（敷地境界）から建物の反対側までの距離としてください。

例



11. 空調・換気設備等

①「空調設備」の有無

1)ある 2)ない ※ 必須入力です

「1)ある」とき

「空調設備」の取替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

②「換気設備」の有無

1)ある 2)ない ※ 必須入力です

「1)ある」とき

「換気設備」の取替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

12. 電灯設備等

①「電灯設備」

「電灯設備」の取替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

②配電盤類(記入の必要はありません。)

★ 空調設備とは、管理事務室、集会室等のエアコンをいいます。

管理事務室、集会室等がない場合は、記入の必要はありません。

★ 換気設備とは、管理事務室、集会室、機械室、電気室等の換気扇、ダクト類、換気口、

換気ガラリをいいます。

★ 電灯設備とは、共用廊下・エントランスホール等の照明器具、配線器具、非常

照明、避難口・通路誘導灯、外灯等をいいます。

★ 配電盤類とは、配電盤、プルボックス等をいいます。

③「幹線設備」

「幹線設備」の取替

1)実施した 2)実施していない,かつ予定はない
※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

④「避雷針設備」の有無

1)ある 2)ない ※ 必須入力です

「1)ある」とき

設置本数 本 ※ 必須入力です

「避雷針設備」の取替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

⑤「自家発電設備」の有無

1)ある 2)ない ※ 必須入力です

「1)ある」とき

「自家発電設備」の取替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

★ 幹線設備とは、引込開閉器、幹線(電灯、動力)等をいいます。

★ 避雷針設備とは、避雷突針、ポール、支持金物、導線、接地極等をいいます。

13. 情報・通信設備

①「電話設備」

「電話設備」の取替

1) 実施した 2) 実施していない ※ 必須入力です

「1) 実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

②「テレビ共聴設備」

「テレビ共聴設備」の取替(アンテナ等)

1) 実施した 2) 実施していない ※ 必須入力です

「1) 実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

③「インターネット設備」

1) ある 2) ない ※ 必須入力です

「1) ある」とき

「インターネット設備」の取替(又は設置)

1) 実施した 2) 実施していない ※ 必須入力です

「1) 実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

★ 電話設備とは、電話配線盤(MDF)、中間端子盤(IDF)等をいいます。

★ テレビ共聴設備とは、アンテナ、増幅器、分配器等をいいます。
ケーブルテレビを除きます。

★ インターネット設備とは、住棟内ネットワーク部分をいいます。
★ 住棟内電話配線設備利用の場合は「2) ない」を選択して下さい。

④ 「インターホン設備等」

[インターホン設備等]の有無

1)ある 2)ない ※ 必須入力です

「1)ある」とき

[インターホン設備等]の取替(又は設置)

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

14. 消防用設備

①「屋内消火栓設備」の有無

1)ある 2)ない ※ 必須入力です

「1)ある」とき

「屋内消火栓設備」の取替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

②「自動火災報知設備」

「自動火災報知設備」の取替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

★ インターホン設備とは、消防法の自動火災報知設備の受信機をいいます。住戸内の火災感知器やガス漏れ警報器と連動して警報する機能を持っています。多くのマンションでは、エントランスのオートロック機能も有しています。住戸玄関内外での情報交換のみの設備は該当しません。

★ 屋内消火栓設備とは、居住者が初期消火に使用するものであり、消火栓ポンプ、消火管、ホース類、屋内消火栓箱等で構成されます。

★ 自動火災報知設備とは、火災を自動的に感知又は押しボタンにより受信し、音響装置で火災を報知するものであり、感知器、発信器、表示灯、音響装置、中継器、専用栓箱等で構成されます。

③「連結送水管設備」

「連結送水管設備」の取替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

★ 連結送水管設備とは、消防ポンプ自動車から送水口に送水し、消防隊が放水口に放水器具を接続して消火活動を行うものであり、送水口、放水口、消火管、消火隊専用栓箱等で構成されます。

15. 昇降機設備

①「昇降機」(エレベーター)の有無

1)ある 2)ない ※ 必須入力です

「1)ある」とき

台数 台 ※ 必須入力です

「昇降機」(エレベーター)の取替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

16. 立体駐車場設備

①「自走式駐車場」の有無(種別)

1)ある 2)ない ※ 必須入力です

「1)ある」とき

1層2段プレハブ自走式 収容台数 台 ※ 必須入力です

2層3段プレハブ自走式 収容台数 台

「自走式駐車場」の建替

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

②「機械式駐車場」の有無(種別)→下表に形式別の収容台数を記入

1)ある 2)ない ※ 必須入力です

「1)ある」とき

形式	収容台数	形式	収容台数
地上単純昇降2段	<input type="text"/>	ピット横行昇降2・3段	<input type="text"/>
地上横行昇降2・3段	<input type="text"/>	ピット横行昇降4・5段	<input type="text"/>
地上横行昇降4段	<input type="text"/>	垂直循環方式(タワー式)	<input type="text"/>
ピット昇降2・3段	<input type="text"/>	その他(多層・水平循環方式等)	<input type="text"/>

「機械式駐車場」の取替(又は設置)

1)実施した 2)実施していない ※ 必須入力です

「1)実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

★ 団地型(複数棟)の場合で、棟ごとに長期修繕計画を作成する場合は、全体の台数(立体駐車場のみ)を各棟の住戸数等で按分した台数を記入してください。

★ 1層2段・2層3段プレハブ自走式とは、躯体が鉄骨造でスロープを自走する駐車場をいいます。1層2段(地上と屋上を利用)と2層3段(地上、2階と屋上を利用)があります。

★ 立体駐車場で、建物内に自走で収容、又は地下等に昇降設備(エレベーター等)で降ろし、自走で収容する方式は、特殊な設備等として「20. その他」に記入してください。

17. 外構・附属施設

①「外構」

「外構」の取替

1) 実施した 2) 実施していない ※ 必須入力です

「1) 実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

②「附属施設」

「附属施設」の取替

1) 実施した 2) 実施していない ※ 必須入力です

「1) 実施した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

18. 調査・診断、設計、工事監理等費用

(記入の必要はありません。)

19. 長期修繕計画作成費用

(1)「長期修繕計画の見直し」の実施

※ 必須入力です

- 1) 新規作成又は見直しを実施した
- 2) 新規作成又は見直しを実施していない

「1) 作成又は見直した」とき

直近 西暦 年 ※ 必須入力です

★ 外構とは、駐車場、舗装、排水管等をいいます。

★ 附属施設とは、自転車置場・ゴミ集積所等をいいます。

20. その他

[特殊な設備等]

- ①特殊な設備名:
修繕を実施した 西暦 年 金額: 円
周期: 年
- ②特殊な設備名:
修繕を実施した 西暦 年 金額: 円
周期: 年
- ③特殊な設備名:
修繕を実施した 西暦 年 金額: 円
周期: 年
- ④特殊な設備名:
修繕を実施した 西暦 年 金額: 円
周期: 年

- ★ 項目の2から19までに該当しない特殊な設備等(例えば、浄化槽・プール・遊戯施設等)がある場合に記入してください。それ以外は、記入の必要はありません。
- ★ 修繕工事を実施した年または実施予定年(西暦)を記入してください。
- ★ 金額は、税抜き金額を記入してください。
- ★ 周期は、修繕を実施した年から次回の修繕予定までの年を記入してください。

【アンケートのお願い】

マンション名

西暦 年 月記入

1. 「長期修繕計画作成・修繕積立金算出サービス」をお知りになったのは、次のどれですか。（複数回答可）

- セミナー チラシ センター通信 ホームページ 友人・知人等からの紹介 過去に利用したことがある
 その他

2. 「長期修繕計画作成・修繕積立金算出サービス」を依頼する目的は、次のどれですか。（複数回答可）

- 現在の長期修繕計画が適切かチェックしたい
 現在の修繕積立金額が適切かチェックしたい
 依頼した専門家から提出された長期修繕計画の内容などが適切かチェックしたい
 長期修繕計画の見直しと修繕積立金の増額の検討を総会、理事会に諮る際の参考資料としたい
 長期修繕計画を初めて作成するので、将来の概算の工事費を把握したい
 その他

アンケートへのご協力ありがとうございます。今後のサービス向上に役立たせていただきます。

お疲れさまでした。記入漏れがないか、もう一度ご確認ください。

ご記入に当たってご不明な点は、下記にお問い合わせください。

公益財団法人マンション管理センター 技術部

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目5-5 岩波書店一ツ橋ビル7階

TEL:03-3222-1519